

川口市立並木小学校 道徳教育概要

～並木小は、全教職員・全教育活動で、子供たちの心を育てます～

【目指す児童像】

- 元気な子：心と体すくすく
- 進んで学ぶ子：学びわくわく
- 豊かにかかわる子：人とにこにこ

【道徳教育の重点目標】

- 思いやりの心をもち、進んで親切にし、助け合う。
- 他の国の人や文化を理解し、国際親善に努める。

1. 教育活動全体で行う道徳教育



登校・挨拶運動

[礼儀・公德心 / 地域連携]

地域の方々と連携し、児童委員会があいさつ運動を率先して実施。



身体測定・生活目標

[健康と安全 / 節度・節制]

月ごとの目標達成に向け各委員会が工夫して全校集会で呼びかけ。養護教諭による歯みがき指導。



なかよしビンゴ

[友情・信頼 / 善悪の判断]

友達同士が関わり合える内容を設定し、よりよい学校作りを目指す。



給食・食育(板前給食等)

[日本の伝統・文化 / 国際理解]

地域の方々の協力で和食文化を学ぶ「板前給食」等を毎年実施。



昇降ロインフォメーションディスプレイ

[集団や社会との関わり/相互理解]

各委員会による活動などの啓発情報および活動成果をはじめ、児童が授業等で作成した発表スライドや動画などを幅広く取り扱う。



世界の国の様子を知り、互いの文化を尊重しあう

[国際理解]

日本とは異なる気候、食べ物、行事、習慣を知ることで、世界には様々な生き方があることを実感する。

2. 要となる道徳科の授業



授業の実践

全学級が毎週の道徳科の授業を大切に積み重ねている。

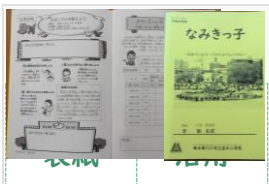


校内研修

講師助言や多文化共生の研修を行い、全職員の指導力向上を図る。

(Gijinote for school / すらら)

3. 地域・保護者を行う道徳教育



伝統の「並木っ子ノート」

児童の実態に合わせて毎年アップデートして活用。日本語・中国語・ネパール語を記載。



学校応援団(ボランティア)の取り組みを通じて

温かい地域の眼差しとサポートが、子供たちの豊かな道徳性と健やかな心を育む。
(多文化共生サポートを中心とした学校応援団の拡大)



サマースクール(8月)

地域の方々の力と教職員の工夫で豊かな体験活動を実施。多様な学びの場を提供し、児童に学ぶ喜びを味わわせる。(集団や社会との関わり)

[サマースクール体験プログラム例]

- ① うどん打ち
- ② 七輪体験
- ③ ケーキづくり
- ④ 和菓子作り
- ⑤ ミサンガ作り
- ⑥ 面白実験
- ⑦ グループチャレンジ
- ⑧ 畳フレーム
- ⑨ ハンドベル
- ⑩ ラグビー体験
- ⑪ 英会話教室